

令和5年度 西陵中学校についてのアンケート結果 分析と今後の方針

アンケート実施時期: 令和5年12月末

1 教育目標実現に向けた努力
<p>生徒、保護者ともに肯定的な意見の回答率はそれぞれ97%、96%で大変高く、学校が教育目標達成に向けて取り組んでいる姿勢を実感してもらえているものとうれしく思います。全教師の学校教育目標達成に向けた意識の軸にぶれないよう、日々の振り返りを大事にして、今後も努力を続けていきます。</p>
2 充実した学校生活
<p>さまざまな制限があり、閉塞感があつたコロナ禍の学校生活に変化が見られ、今までの学校生活が戻りつつあります。コロナ禍を機に行事等の見直しが進み、縮小された取り組みもありますが、学校生活が楽しく充実しているかの問いに対して、97%の生徒が肯定的な回答をしています。保護者もほぼ同じ高い数値を示しています。ただ単に削るのではなく、新しい価値観を大事にした学校生活を送れるよう、学校として工夫を続けていきます。</p>
3 わかる授業
<p>97%の生徒が、学校の授業が分かりやすいという肯定的な回答をしています。これは、学校教育ビジョンの柱のひとつである「確かな学力の定着」に向けて、もっとも大事なことであり、うれしいことです。ICTの活用やグループによる学び合いなど、多様な学習や問題解決的な学習に向けての研修の成果と受け取れます。しかしながら、高評価を得ただけで満足してはいけないものと考えています。理解が不十分であるが故に困り感を抱えている生徒を見逃がしてしまうことなく、残りの3%の生徒に寄り添った指導を心がけたいと思います。</p>
4 適切な評価
<p>2年前に評価の観点および評価方法が変わり、初年度は評価する側もされる側も手探りの面がありましたが、本年度は固定的な評価は生徒が97%、保護者が95%と、比較的高い評価を得ています。しかし、7月に実施した第1回の調査より12月実施分の方が、生徒・保護者ともにわずかながらポイントが下がっており、評価に納得できていない生徒・保護者が存在するということについて、説明責任を果たせる評価に努めていく必要があります。定期テストの点数だけでなく、毎時間の学習活動への参加状況や各単元における思考力や技能、表現力なども大切にして評価に取り組んでいきます。</p>
5 キャリア教育の推進
<p>毎年のように高評価が出る項目であり、本年度も生徒の評価は99%と高い値となりました。保護者の肯定的な回答も昨年度の74%から91%へと持ち直すことができました。本年度はコロナ禍で中止していた様々な体験活動を再開すると共に、社会で活躍されている方々からお話を聴かせていただく機会も2回設けました。また、ビジョンボード等を活用した自己を見つめる取り組みなど、個性の伸長を図る活動もおこなっています。さらに本年度は、学校規模適正化対象校としての取り組みのひとつとして、居住地域の将来の可能性について名古屋大学の高野教授による科学的な分析をもとに、将来的にこの地に残り、地域を活性化させるために自分たちに何ができるか、ディスカッションをする機会も設けました。今後も自分の将来について関心を持ち、生き方について考える機会を増やしていきたいと思えます。</p>
6 道徳・人権教育の充実
<p>生徒の99%から肯定的な評価を得ており、毎回高い評価を得ています。子どもたちにとって、授業で計画的に進められる道徳も必要ですが、身近でタイムリーな話題について教科を越えて気軽に話し合うことで、それらの問題を他人事ではなく自分事としてとらえられたと考えます。保護者からも昨年度を少し上回る92%の高い評価となりました。今年度は学校ホームページや校長室だよりで、積極的に授業の様子や内容、ねらいなどを発信してきました。その中でも道徳や人権学習の様子も紹介する取り組みが保護者の評価にもつながっていると思えます。今後も、道徳の時間はもとよりすべての教育活動において、人権教育の充実を図り、仲間づくりに重点を置いた指導を心がけ、生徒や保護者にそのことが実感できるよう、対応していきたいと思えます。</p>
7 仲間づくり
<p>生徒の肯定的な回答は98%であり、高い評価を得られましたが、本年度は各々のコミュニケーション力の未熟さが要因だと考えられる生徒間トラブルも何件か発生したため、その事実をしっかりと受け止め、すべての生徒に視点を当てた丁寧な指導を心がけてきました。コロナ禍にも一応の区切りができ、「仲間」を活用した取り組みも戻ってきました。今後も生徒と生徒、また、生徒と教師が円滑な人間関係を築けるように指導を改善しながら、集団づくりを行ってまいります。</p>

8 危機管理体制

生徒の肯定的な回答は100%、保護者は96%と、大変高い評価を得ることができました。これは、業間に「見守り」として教師が廊下や教室内に留まって生徒に寄り添い取り組みを行ってきたことが信頼感に繋がっているものと考えられます。また、学校施設点検などの学校生活での安全はもちろん、登下校時の安全のため、教師による下校時の安全パトロールやPTAによる登校指導・挨拶運動を定期的実施しています。自転車の乗車マナーの悪さに関する地域の方からのご連絡も頂きましたが、その都度、丁寧に生徒への指導を行い、改善を図る努力をしてきました。また、防災面においては、本年度から各町自治会が実施する地区防災訓練に生徒が参加し、各地区の防災戦力としての意識を持つよう指導してきました。今後も生徒の安全意識を高め、安全確保のための体制作りをめざしていきます。

9 生徒指導上の問題への対応

ここ数年間の傾向として、生徒の肯定的回答が95%以上であったのに対し、保護者のそれは80%台でした。しかし本年度は、生徒の肯定的回答は100%、保護者は92%に上昇しました。これまで、問題の早期発見・早期解決をめざして、スピード感のある対応に心がけ、小さなことでも保護者への連絡を欠かさずに対応してきました。また0次対応として教師は毎日の日記や休憩時間等を活用した生徒との言葉のやり取りを通してコミュニケーションや情報収集を図ってきました。今後も生徒が安心して学校生活を送れるように努めるとともに、保護者との連携をとり、職員間の連絡を密にすることで組織的対応のできる体制づくりをめざします。

10 教育相談

生徒の肯定的評価が100%、保護者は93%と高い評価を得ること緒ができました。教育相談の充実がはかられたと考察できます。毎学期の定期的な教育相談や生徒との日常的な関係づくりの中で、相談活動は定着してきています。教育相談の意義について職員全員が共通認識の下でこれまで積極的に取り組んできた成果であるように考えられます。また、本年度は職員研修会でスクールカウンセラーを講師とした研修会を設け、子どもとのカウンセリングに必要なカウンセリングマインドやカウンセリングスキルについて学ぶ機会がありました。今後も担任と保護者とカウンセラーとの連携を一層強化し、相談活動の充実に努めていきます。

11 部活動の充実

コロナ禍により大会の中止等、部活動を楽しみにしている生徒にとっては非常に物足りない日々が続きましたが、ウイズコロナの時代に入り、少しずつ以前の状況に戻つつあります。しかし、部活動が「全員加入」ではなくなり社会活動へ移行していく方針の中、この地区としてどうすべきか先の不透明さからくる不安が地域にあるのではないかと思います。評価の肯定的回答は、数値としては目立って低いわけではありましたが、地域的に簡単に社会活動に移行できない本校としては、部活動指導が持つ教育的意義や役割の重要性について変わらぬ認識を持ち、来年度以降、国県市が進める部活動地域移行の動きを見据えながら、よりよい体制づくりを模索していきたいと考えます。

12 保護者・地域との連携

92%の保護者が肯定的な回答となっており、学校公開日や懇談会などの機会を肯定的に活用いただいていると考えています。また99%の生徒が、地域の人や外部講師による学習活動が役に立つと感じています。さらに親子での学校環境整備活動にも積極的に参加をいただけるつながりを大事にして、より開かれた学校を目指して、学校と保護者が生徒について話し合う機会を設けていきたいと考えています。令和3年度から始まった四日市市版コミュニティスクール学校運営協議会を進め、地域との連携をさらに図っていきます。

13 情報の発信・受信

96%の生徒と94%の保護者の方から、情報の発信・受信に対して肯定的な回答をいただきました。しかし、ホームページの更新がされていなかったことをご指摘いただく意見もありました。特に学校行事の日時変更等については、スピード感のある対応が求められる中、更新がなされなかったことは、ただちに改善いたします。本年度はホームページにおいて校長室だよりが毎日更新され、授業の内容や生徒の様子が発信されています。また、学校からのたよりを地域で閲覧いただき、学校を知っていただく手段としています。さらに、ホーム&スクールの伝達手段で早く伝達したい情報を発信するなど、様々な手段での発信・受信に心がけていきたいと思えます。今後も、学校と家庭・地域がつながる取組を行っていきます。

14 学校指定物品

社会情勢として物価が上昇傾向にある中で、保護者の負担を軽減する価格見直しへの取り組みは、より困難になっています。原材料・輸送料費の高騰により、小売価格への影響は避けられない状況です。そのような状況下で、指定物品の値上げは2品目ありました。それらの報告をPTA本部役員会やコミュニティスクールにて報告してきたものの、PTA全体への周知徹底が弱かった点を反省しています。来年度以降も値上げまたは指定物品の変更は予定されているので、丁寧に報告していきたいと考えています。